

令和7年度 新津中央地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

開催日時: 令和7年6月27日(金) 10時～
会場: 新津地域交流センター (201・202研修室)

新津中央コミ協: 中村会長、小林副会長、小野沢副会長、小山副会長、本望事務局長、三澤健康福祉部副部長、
新津中央民協: 吉川会長、町内会: 五十嵐会長(新津本町4丁目2区)、地域教育コーディネーター: 菅井co、塩田co(新津第一中)、
吉村co(新津第一小)、地域包括支援センター新津: 長谷川主任CM、
秋葉区社協: 秋山事務局長補佐、佐藤(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

地区別計画推進目標ごとに推進できそうなこと		地域の取組みをする上での課題解決のためにできること
1 明るく元気な地域づくり	3 健康で豊かな地域づくり	1 組織のつながりの中でニーズ把握⇒全体での課題共有のために
<p>①世代を超えて声をかけ合い、つながりを大切に育てていこう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自学ひろばの継続 ・子ども達をからめた地域福祉活動の取り組みを検討する。 ・民生委員の見守りでモニターカード記録を継続する。 ・セーフティスタッフの見守りの継続(あいさつが良くなっている) ・コミ協事業「グリーンカーテン」を通じたつながり(新津一小有参加) ・学校から各町内会に訪問した懇談会を再開すると良い。 <p>■地域と福祉事業所の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コトイロ日和(障がい者就労施設)としても地域交流を図っていきたい。 	<p>①心と体の健康づくりを進めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ屋敷世帯への対応の仕方が課題 ・各関係機関との関わりが大切 	
<p>②どの行事においても、より多くの人が参加しやすい工夫をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールやホームページ等を見てもらえるよう情報発信する。 		
2 安全で安心な地域づくり	4 相談しやすい体制づくり	地域の課題のためにできそうなこと
<p>①人にかかわる安全を！</p> <p>■避難行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者へ顔つなぎのしくみづくりの検討 ・個別支援計画の見直し(行政) ・自宅や避難所→安全なところをお知らせする(自助の大切さ) ・アパートに住む人で身寄りのない人が増えている(地域との関わりを拒否)→地域と民生委員との連携づくりが必要 <p>■周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板での周知の工夫が必要 ・連絡方法の工夫が必要(メール・ホームページ、紙ベースも大事) ・フェイスブック、インスタ、グループLINEを活用した周知の継続 <p>■学校とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新津第一中と地域合同の防災学習会の開催を継続(新津第一中Co)(一中主催のため参加人数制限がある→参加しなかった人が次年度に参加する工夫を) ・学校→コミ協→各自治会・町内会(各部会)→地域住民への情報伝達の工夫が必要(民生委員、地域PTA、育成会等との連携も大切) ・一中校区として中央地区も三小「雪の火祭り」に参加できると良い 	<p>①相談しやすい雰囲気づくりのために</p> <p>■歳末見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳末見守り事業の訪問の継続(町内会と民生委員との連携) ・地域の子どもと一緒に訪問している。 ・役員だけでなく隣近所と一緒に取り組むとどうか。 ・地域の方で声かけをし、情報共有することが大切。 <p>■緊急情報キット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットの配布・更新の取り組みをコミ協と自治会・町内会と連携し、継続する ・緊急情報キットや困りごとに関するアンケートをまとめ、今後活かす(田家2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括新津と民生委員の連携で高齢者訪問、自治会とも気軽に連絡が取れる関係づくりを検討する。
<p>②環境にかかわる安全を！</p> <p>■コミ協</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協防災部の連絡体制づくり ・地域住民へ防災意識を高めるための周知 <p>■自治会・町内会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の立ち上げ率が高いが機能していない→活発な地域を手本に活動する ・自主防災組織を立ち上げ機能させていく ・避難所を全世帯へ周知する ・地域住民へ防災意識を高めるための周知(再掲) ・新津本町4丁目2区: 会館が無いことからひろばを活用する ・田家2丁目: 夏休みの子どもを交えた防災訓練 		